

昭和 6 3 年 度 技 術 開 発 実 施 報 告 書

様式 2

課 題	広葉樹天然林の更新方法について	継続・新規別	継 続	担 当 課	造林課	開 発 箇 所	武 雄 (世知原)	期 間	昭和 61 年度 ~ 平成 7 年度
		経常・特別別	経 常						
		指示・自主別	自 主						
全 体 計 画		実 施 報 告		昭和 63 年度実施計画		評価および普及計画			
		昭和62年度までの実施経過を記入のこと		昭和 63 年度実施結果を記入のこと					
1. 試験地設定 (1) プロット設定 2. 調査事項 (1) 成長量調査 (2) 疎密度調査		1. 試験地設定 (1) 伐採前の試験地小径木 保残ヶ所(0.25ha)、皆伐 ヶ所(0.25ha)を設定。 2. 伐採前林況調査 3. 小径木の保残 指導要請 4. プロット設定 (1) 伐採前の試験地小径木 保残ヶ所内と皆伐ヶ所内に プロット(0.01ha 10m×10m)を 各2ヶ所、計4ヶ所設定。 5. プロット内林況調査 6. 伐採後、プロット内林況調査 (1) 保残木 樹種別、本数、樹高 調査 (2) 稚樹、ぼう芽発生調査 (3) フス発芽侵入調査		1. 伐採後プロット内林況調査 (1) 保残木 樹種別、本数 樹高調査 (2) 稚樹、ぼう芽発生調査 (3) フス発芽侵入調査 (4) 疎密度調査		1. 伐採後プロット内林況調査 (1) 保残木 樹種別、本数 樹高調査 (2) 稚樹、ぼう芽発生調査 (3) フス発芽侵入調査 (4) 疎密度調査			

(様式 4)

試験経過記録(その1)

武雄 営林署

課 題

広葉樹天然林の更新方法について

1 伐採後プロット内林況調査

(1) 保残木樹種別 本数・樹高調査

プロット	樹 種	胸高径 4 cm 以上				胸高径 4 cm 未満				備 考
		本 数	平均根元径 cm	平均胸高径 cm	平均樹高 m	本 数	平均根元径 cm	平均胸高径 cm	平均樹高 m	
No. 1	タブバキ	2	5.5	4.0	5	4	2.8	2.2	3	
	ヒサカキ	1	5.0	4.0	4	1	2.5	1.5	2	
	サザンカ					12	3.0	1.9	3	
	クワキ					1	4.0	3.0	2	
	モクノキ					3	3.7	2.7	3	
	シキミ					1	2.8	1.5	2	
	サカキ					1	4.0	2.6	2	
	計	3				23				
No. 2	タブバキ	4	5.3	4.1	4					
	サザンカ	2	5.1	4.1	6	10	2.2	1.7	2	
	シキミ					2	2.0	—	1	
	計	6				12				

(2) 稚樹・ぼう芽発生調査

表-I、IIのとおり

(3) クズ発生・侵入調査

発生・侵入なし

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

表-1 稚樹発生調査表

プロット 樹種	プロット No 1			プロット No 2			プロット No 3			プロット No 4		
	株数	平均 樹高	平均 樹高	株数	平均 樹高	平均 樹高	株数	平均 樹高	平均 樹高	株数	平均 樹高	平均 樹高
アカガシ	5	9	71	1	4	60	7	4	88	5	8	76
イヌノキ										3	4	58
イタジイ				1	6	20	1	3	20	3	1	40
シラカシ	8	7	71									
タブ	3	13	106	8	7	76	6	8	102	10	3	72
有用樹計	14			10			14			24		
イヌガシ	10	5	49	17	5	52	15	3	41	23	3	33
イヌツゲ										3	3	32
エゴノキ										1	4	25
カエデ										3	11	66
クロキ	2	6	45	2	6	35				2	3	38
ササニカ	2	7	37	5	4	53	38	4	51	44	4	43
サングジュ				1	3	90						
シキミ				1	3	50	3	3	40	3	2	25
スズミモク	1	4	70	1	5	60	7	5	75	23	3	45
ハイノキ							2	5	52			
ヒサカキ				4	11	36	2	5	51			
マチバシイ										1	1	90
モクノキ							1	6	70	6	6	46
モツツ										2	5	43
ヤブツバキ	1	3	40	2	6	60	3	5	48	10	5	49
非有用樹計	18			33			71			121		
合計	30			43			85			145		

表-1 稚樹発生調査表

プロット 樹種	プロット No 1			プロット No 2			プロット No 3			プロット No 4		
	本数	cm 平均 樹高	ha 当たり 本数	本数	cm 平均 樹高	ha 当たり 本数	本数	cm 平均 樹高	ha 当たり 本数	本数	cm 平均 樹高	ha 当たり 本数
アカガシ	1	20	100									
イタジイ										2	14	200
タブ	3	50	300							1	17	100
有用樹計	4		400							3		300
イヌガシ	7	59	700	7	39	700				5	22	500
イヌガヤ										2	23	200
エゴノキ	8	85	800	8	79	800	23	25	2300	33	63	3300
クロキ	1	120	100	1	50	100				1	30	100
サカキ				1	50	100						
ササニカ	42	56	4200	27	45	2700	24	37	2400	14	34	1400
シキミ				1	12	100	8	25	800	4	29	400
シロダモ										1	40	100
スズミモク	4	74	400	7	47	700	2	70	200	4	37	400
ハイノキ	1	60	100				2	40	200	1	20	100
ヒサカキ	4	55	400	4	43	400	2	25	200			
ヤブツバキ	1	50	100	3	43	300				1	50	100
イヌツゲ							2	20	200	7	22	700
その他	199	106	19900	228	115	22800	208	85	20800	278	85	27800
非有用樹計	267		26700	287		28700	271		27100	351		35100
合計	271		27100	287		28700	271		27100	354		35400

(様式 4)

試験経過記録(その2)

武雄 営林署

表-I 稚樹発生調査表

プロット 樹種	No. 1			No. 2			No. 3			No. 4		
	本数	平均樹高 ^{cm}	毎本数	本数	平均樹高 ^{cm}	毎本数	本数	平均樹高 ^{cm}	毎本数	本数	平均樹高 ^{cm}	毎本数
アカガシ	1	20	100									
イタジイ										2	14	200
イヌガシ	7	59	700	7	39	700				5	22	500
イヌガヤ										2	23	200
イヌツゲ							2	20	200	7	22	700
エゴノキ	8	85	800	8	79	800	23	75	2,300	33	63	3,300
フクロキ	1	120	100	1	50	100				1	30	100
サカキ				1	50	100						
サザンカ	42	56	4,200	27	45	2,700	24	37	2,400	14	34	1,400
シキミ				1	12	100	8	25	800	4	29	400
シロダモ										1	40	100
タブノキ	3	50	300							1	17	100
ネズミモチ	4	74	400	7	47	700	2	70	200	4	31	400
ハイノキ	1	60	100				2	40	200	1	20	100
ヒサカキ	4	55	400	4	43	400	2	25	200			
ヤブツバキ	1	50	100	3	43	300				1	50	100
その他	199	106	19,900	228	115	22,800	208	85	20,800	278	85	27,800
計	271		27,100	287		28,700	271		27,100	354		35,400

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

武雄 営林署

(様式 4)

表-Ⅱ ぼう芽発生調査表

プロット 樹種	No. 1			No. 2			No. 3			No. 4			備考
	株数	平均 ぼう芽本数	平均 樹高	株数	平均 ぼう芽本数	平均 樹高	株数	平均 ぼう芽本数	平均 樹高	株数	平均 ぼう芽本数	平均 樹高	
アカガシ	5	9	71	1	4	60	7	4	88	8	6	76	
イスノキ										3	4	56	
イタジイ				1	6	20	1	3	20	3	1	40	
イヌガシ	10	5	49	17	5	52	15	3	41	23	3	33	
イヌツゲ										3	3	32	
エゴノキ										1	4	25	
カエデ										3	11	66	
クワキ	2	6	45	2	6	35				2	3	38	
サザンカ	2	7	37	5	4	53	38	4	51	44	4	43	
サングヅユ				1	3	90							
シキミ				1	3	50	3	3	40	3	2	25	
シラカシ	6	7	71										
タブノキ	3	13	106	8	7	76	6	8	102	10	3	72	
ネズミモク	1	4	70	1	5	60	7	5	75	23	3	45	
ハイノキ							2	5	52				
ヒサカキ				4	11	36	2	5	51				
マテバシイ										1	1	90	
モミノキ							1	6	70	6	6	46	
モッコク										2	5	43	
ヌグツバキ	1	3	40	2	6	60	3	5	48	10	5	49	
計	30			43			85			145			

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

武雄

営林署

(様式 4)

(4) 疎密度調査

有用樹種が稚樹のため、現段階では調査の必要なし。

2. 考察

当該箇所は、搬出完了後2年11カ月経過している。前回調査時点と比較すると、草本類の侵入が目立ち、特に小径木保残カ所ではクマイチゴが大半を占有し、皆伐カ所についてはススキ・クマイチゴの占有が多い。このため、被圧による稚樹の枯損が見られた。

小径保残木についても、枯損・半枯損が見られるが、これは、伐採前は下層木であったものが上層木の伐採による環境の変化に対応できなかったためと思われる。しかし、半枯損木についてはぼう芽が見られるので早期成林の期待が見込まれる。

現況は、小径木保残カ所と皆伐カ所の植生の相違があり、これが今後の稚樹の成育・ぼう芽の発生にどのような影響があるのか、引続き比較調査を要する。

状 況 写 真

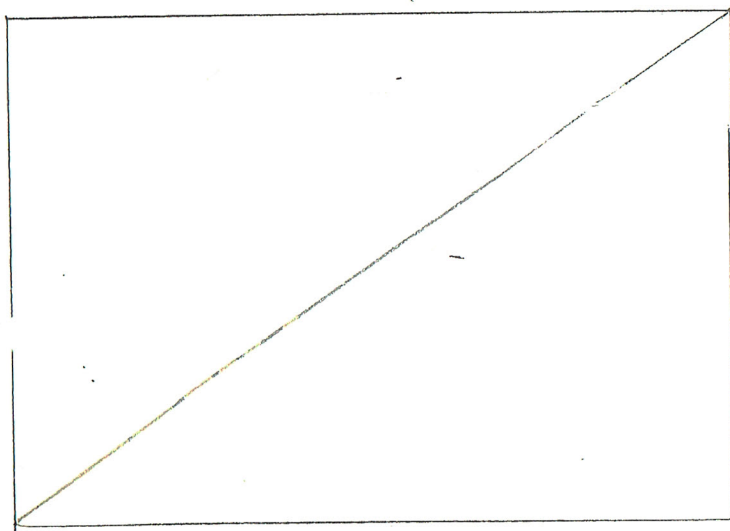
区 分

自 主

武雄 営林署

(様 式 6)

伐採後の全体写真



小径木保残区域
面積 0.25 HA



皆伐区域
面積 0.25 HA



状 況 写 真

区 分

自主

武雄 営林署

(様 式 6)

小径木保残区域内プロット写真

プロット NO. 1 面積 0.01 HA



プロット NO. 2 面積 0.01 HA

